

発議案第1号

18歳までの子ども医療費助成制度の拡充に関する決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年2月18日

八千代市議会議長 大塚裕介 様

提出者	八千代市議会議員	林	利彦
賛成者	八千代市議会議員	林	隆文
	同	木下	映実
	同	山口	勇
	同	伊原	忠
	同	三田	登
	同	宮内	鋭
	同	菅野	文男

## 提案理由

子育て世帯の負担を軽減するため、18歳までの子ども医療費助成制度の拡充を強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

## 18歳までの子ども医療費助成制度の拡充に関する決議

未来ある子供たちに健康に成長してもらいたいとの思いから、現在本市では中学校3年生までを医療費助成の対象としている。

一方で、高校生は活動範囲が広がり、けがや病気のリスクが高まるなど、教育、医療等に多額の費用を要することなどから、保護者から、高校生等も助成の対象にしてほしいとの声が数多く寄せられている。何より、子供たちの成長過程における支援は、子育て世帯の負担軽減につながるものである。

また、市長が子ども・子育てに関する施策の推進を第一に掲げている中で、子育て世代を呼び込む重要な施策でもある。

千葉県内においては、令和3年8月現在、既に10市13町村が18歳までの助成を実施している。

よって、本市の取組が他市等に遅れることがないように、経済的負担の大きい入院を対象とした、18歳までの子ども医療費助成制度の拡充を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月23日

八千代市議会